

単元名	たこべったんを広めよう		学年	6年生
内容	A_ものづくり		総時間数	35
目標	○たこべったんに関わる人や、企業の方々と連携し、たこべったんを広めようとする活動を通して、たこべったんに関する知識や、他者と話し合っよりよいものを考える技能（対話力）、相手に分かりやすく伝える技能（発信力）などを身に付ける。 ○新たな価値を生み出す創造力や、実現させるために筋立てて考える力（論理的思考力）を養う。 ○関係者の評価等を受け止めて取組を振り返り、誰かのためにがんばることのよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとする態度（心）を養うようにする。			
学習過程	主な学習活動		外部連携・教材等	
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イトーヨーカドーや大田区企画課、たこべったんを開発した元栄養士の緒方文子さんから「たこべったんを広めることで、大田区の魅力を発信したい」という願いを聞く。</li> <li>・コンセプトの意味を理解する。</li> <li>・「たこべったん」に関する情報を収集し、分析する。</li> <li>・自分たちがデザインするものや取組のコンセプトを考える。</li> <li>・実現させるための学習計画を立てる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社イトーヨーカ堂</li> <li>・株式会社セブン-イレブン・ジャパン</li> <li>・大田区企画課</li> <li>・大田区広報課</li> <li>・緒方文子さん</li> <li>・栄養教諭</li> </ul>	
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちのコンセプトに基づき、課題をよりよく解決するものや取組について考える。</li> <li>・プレゼンテーションを作成し、発表に向けた準備を行う。</li> <li>・発表内容について、連携企業の専門家からフィードバックを受ける。</li> <li>・フィードバックを基に発表内容を修正する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社イトーヨーカ堂</li> <li>・株式会社セブン-イレブン・ジャパン</li> <li>・大田区企画課</li> <li>・大田区広報課</li> <li>・緒方文子さん</li> <li>・栄養教諭</li> </ul>	
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修正したプレゼンテーションを行う。</li> <li>・自分たちで考えたものや取組を実現させる。</li> <li>・学習を振り返り、学習したことを価値づけたり、自分たちの成長を確かめたりする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社イトーヨーカ堂</li> <li>・株式会社セブン-イレブン・ジャパン</li> <li>・大田区企画課</li> <li>・大田区広報課</li> <li>・緒方文子さん</li> <li>・栄養教諭</li> </ul>	
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容		授業時数	
国語	話すこと・聞くこと	・互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。	7	
	話すこと・聞くこと	・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。		
社会	公民	・働く人への聞き取り調査をしたり、都や区などが作成した広報誌などの各種資料で調べたりして、図表などにまとめる。	3	
算数	データの活用	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。	5	
図工	共通事項	・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。	2	
家庭	衣食住の生活	・食品の栄養的な特徴が分かり、料理や食品を組み合わせるとる必要があることを理解する。	3	
総合	・地域の人、もの、ことの中から問いを見いだし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。		15	